

平成 30 年度 活動報告

調査研究推進部門

1. はじめに

防災に関する教育・研究や行政等の取り組みについて、本センターに係わる教職員および関係機関の情報交換や交流を目的に平成 25 年度から「鹿大防災セミナー」を実施している。以下、平成 30 年度に開催した第 20 回から第 22 回の概要を報告する。

2. 鹿大防災セミナー開催報告

第 20 回

日時：平成 30 年 5 月 9 日（水）16 時 30 分～17 時 50 分

会場：理学部理学系先端研究棟 2 階理学部大会議室（郡元キャンパス）

講演：

「地震火山地域防災センターについて」

農水産獣医学域農学系 教授 地頭菌隆（地震火山地域防災センター長）

「南九州、北部南西諸島域での地震火山観測研究」

理工学域理学系 教授 中尾茂（南西島弧地震火山観測所長）

「海底地震観測で得られた巨大地震前後の地震活動変化－2011 年東北地方太平洋沖地震－」

南西島弧地震火山観測所 特任助教 仲谷幸浩

司会：調査研究推進部門 准教授 小林励司

概要：

今回は、この 4 月にあった改組を受けて特別編として企画された。

まず、センター長である地頭菌隆教授から、前身である地域防災教育研究センターの歩みと、改組の概要、および今後の取り組みについての紹介がされた。

続いて、今回の改組でセンター附属となった南西島弧地震火山観測所について、その所長である中尾茂教授から、観測所の設立経緯や、観測内容、およびこれまでの研究成果についての紹介がされた。

最後に、この 4 月に南西島弧地震火山観測所に赴任された仲谷幸浩特任助教から、これまでの自身の取り組みである海域での地震観測や地震活動の研究について紹介され、今後の抱負についても語っていただいた。

セミナーには、教職員、学生のほか、鹿児島地方気象台などの学外関係者を含めて 53 名が参加した。



地頭菌センター長の講演の様子

第21回

日時：平成30年9月11日（火）16時30分～17時50分

会場：理学部理学系先端研究棟2階理学部大会議室（郡元キャンパス）

講演：

「日本における原子力災害医療体制に関する実態調査」

鹿児島大学病院看護部 看護師 吉永健嗣

「鹿児島県の原子力災害拠点病院としての当院の課題と今後の取り組みについて」

鹿児島大学病院看護部 看護師 土橋仁美

司会：防災教育推進部門 教授 松成裕子

概要：

吉永健嗣氏から、東京電力福島第一原子力発電所の事故後に、大きく見直された原子力災害医療体制についての原子力施設の立地および隣接する道府県における医療体制の整備状況について紹介された。

続いて、土橋仁美氏から、本学の大学病院が原子力拠点病院に指定されたことからの大学病院の訓練等による取り組みについて紹介された。

セミナーには、教職員、学生のほか、鹿児島地方気象台などの学外関係者を含めて35名が参加した。



土橋氏の講演の様子

第22回

日時：平成31年3月14日（木）16時30分～17時50分

会場：理学部理学系先端研究棟2階理学部大会議室（郡元キャンパス）

講演：

「大規模災害時の歯科的身元確認業務について」

医歯学域歯学系 教授 田松裕一

「災害時の情報伝達手段の整備」

学術情報基盤センター 教授 升屋正人

「桜島から噴出する火山灰に含まれる斜長石の構造状態について」

法文教育学域教育学系 准教授 松井智彰

「熊本地震から見たこれからの土木の在り方」

理工学域工学系 助教 小池賢太郎